

ごのへ 議会だより

Gonoh Assembly News

議会広報
令和2年1月
第34号

第32回定例会(令和元年12月定例会)

第31回臨時会・第32回定例会 …… 2 一般質問(7人) …… 4 所管事務調査 …… 11
議会4年間の主な出来事 …… 12 議員活動報告 …… 14 編集後記 …… 14

令和2年2月28日 第16期五戸町議会議員任期満了



議員ほか・前列左から3人日柳町教育長・5人日若宮町長・7人日大久保副町長

関連記事

12～13Pに第16期五戸町議会4年間の主な出来事を掲載

第31回 令和元年11月 臨時会

11月8日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

町長提出案件

事業の施行 1件

- 1 土地改良事業の施行について

【内容】

・台風19号により被害を受けた農業用施設の災害復旧事業を行うためのもの

審議の結果

全員賛成で可決

補正予算 1件

- 1 一般会計補正予算(第4号)

補正額(増額)

4733万5千円

予算総額(補正後)

92億3373万9千円

【主な内容】

・道路環境整備業務委託料

1805万円

・農業施設等災害普及費に係る工事請負費

2450万円

審議の結果

全員賛成で可決

第32回 令和元年12月 定例会

12月5日から10日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 21件			
原案可決	同意	承認	認定
21件	0件	0件	0件

町長提出案件

報告 1件

- 1 損害賠償請求に関する和解及び額の決定について

【内容】

・町道鍛冶屋窪線で発生した車両物損事故の損害賠償請求に関するもの(報告は採決しません)

規約の変更 2件

- 1 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

【内容】

・三戸郡福祉事務組合の解散に伴い規約の変更をするもの

2 十和田地区環境整備事務組合規約の変更について

【内容】

・識見を有する者から監査委員を選任するため規約の一部を変更するもの

3 五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例

4 五戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・2から5は、青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に伴い、職員等の給料表、期末手当及び勤勉手当等の支給割合を改めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

過疎計画の変更 1件

- 1 五戸町過疎地域自立促進計画及び参考資料の変更について

5 五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・五戸町公共施設等総合管理計画等との整合性を図るため、計画本文に文言の追加が必要となり変更するもの

6 災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・災害援護資金の貸し付け利率及び保証人並びに償還方法に係る規程の整備を行うためのもの

7 石沢駒踊伝承館条例の一部を改正する条例

【内容】

・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に関する法律が制定されたことに伴うもの

審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 7件

1 五戸町表彰条例等の一部を改正する条例

【内容】

・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に関する法律が制定されたことに伴うもの

2 五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等

【内容】

・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に関する法律が制定されたことに伴うもの

3 五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部を改正する条例

5 五戸町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・2から5は、青森県人事委員会からの職員の給与等に関する報告及び勧告に伴い、職員等の給料表、期末手当及び勤勉手当等の支給割合を改めるもの

6 災害弔慰金の支給に関する条例の一部を改正する条例

【内容】

・災害援護資金の貸し付け利率及び保証人並びに償還方法に係る規程の整備を行うためのもの

7 石沢駒踊伝承館条例の一部を改正する条例

【内容】

・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るため、関係法律の整備に関する法律が制定されたことに伴うもの

【内容】

・指定管理者に管理を行わせることができる公の施設として新たに石沢駒踊伝承館を追加するもの

△1424万2千円

・消防屯所修繕工事費
541万5千円
・管内小・中学校施設改修工事費
532万5千円

審議の結果

全員賛成で可決

②後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

720万円

・予算総額(補正後)

4億5050万8千円

【主な内容】

・一般会計繰出金

749万1千円

③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

474万4千円

・予算総額(補正後)

22億5135万円

【主な内容】

・結核精神疾病医療費特調申請支援業務委託料

71万7千円

・資格管理効率化等システム改修業務委託料

14万1千円

④介護保険特別会計補正予算(第3号)

補正額(増額)

△538万4千円

・下水道事業特別会計繰出金

△538万4千円

・下水道事業特別会計繰出金

△538万4千円

4861万2千円

・予算総額(補正後)

24億6338万5千円

【主な内容】

・過年度分返還金

2167万7千円

・一般会計繰出金

2075万6千円

⑤下水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(減額)

△590万7千円

・予算総額(補正後)

3億6597万2千円

【主な内容】

・受益者負担金一括納付奨励金

12万8千円

⑥農業集落排水処理施設事業特別会計補正予算(第1号)

補正額(減額)

△52万5千円

・予算総額(補正後)

1億2557万4千円

【主な内容】

・処理施設維持管理業務委託料

△52万5千円

⑦簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(減額)

△234万7千円

・予算総額(補正後)

1億815万5千円

【主な内容】

・給水車運搬手数料

134万円

・水道施設等管理業務委託料

⑧住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第1号)

補正額(増額)

1035万1千円

・予算総額(補正後)

1422万1千円

【主な内容】

・一般会計繰出金

1035万1千円

⑨ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

234万1千円

・予算総額(補正後)

3306万円

【主な内容】

・ケーブルテレビ事業基金積立金

234万1千円

⑩病院事業会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

1億9562万2千円

・収益的収入

1億9562万2千円

減の24億8543万1千円

【主な内容】

・看護師不足に伴う稼働病床数、入院患者数の減による収入の減額

収益的支出

9254万2千円減の27億8767万4千円

【主な内容】

・人件費の減額

審議の結果

全員賛成で可決

金積立金

234万1千円

⑩病院事業会計補正予算(第2号)

補正額(増額)

1億9562万2千円

・収益的収入

1億9562万2千円

減の24億8543万1千円

【主な内容】

・看護師不足に伴う稼働病床数、入院患者数の減による収入の減額

収益的支出

9254万2千円減の27億8767万4千円

【主な内容】

・人件費の減額

審議の結果

全員賛成で可決

意見書 1件

①若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書について

最低保障年金制度の創設や年金を毎月支給へ改善するなど、若い人も高齢者も安心できる減らない年金制度の確立を求めるもの

審議の結果

全員賛成で可決

陳情 2件

①最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情書

・総務常任委員会へ付託

②若い人も高齢者も安心できる年金を求める意見書採択の陳情

・民生常任委員会へ付託

常任委員会の審査結果

採択(願意妥当・意見書の伴う議会提出案件)

審議の結果

全員賛成で採択

③ このへ議会だより 第34号



おがた ひろゆき
尾形 裕之 議員

12月定例会では7人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。

◆若宮町長の公約 『新たな時代へ!! 5つの五戸町づくり』 は大変良くできている

次期総合戦略には、十分これを反映させて策定していただきたい

質問①

1. 未来へつなぐ教育のまち「五戸」...

給付型奨学金制度の創設、子育て世代への支援充実、給食費の軽減化の実施時期は。

答 若宮町長

給付型奨学金制度は、町財政運営計画の状況や、国・町・他の自治体の制度を参考に今後策定していく。

子育て世代への支援充実として、子育て世代包括支援センター業務を令和2年度より開始する。給食費の軽減化は、消費税率の上昇を値上げしないことで軽減を図っている。

質問②

2. 安心で、仲良く平和に暮らせるまち...

消防団の処遇改善・再編成の検討、県道橋向五戸線宛内バイパスの早期着工・早期完成はいつになるのか。

答 若宮町長

近年、消防団の団員数の減少や高齢化が問題視されている。昨年度から、消防団の再編計画の策定に取り組んでいる。県道橋向五戸線の進捗状況について、現在県では、現地測量の結果をもとに事業内容を検討しているとのことである。

答 松坂建設課長

県の担当者によると、道路用地の交渉が難航しており、着工や完成時期の目途が立っていないとのことである。

質問③

3. にぎわいのあるまち... 産業まつりと文化まつりを本年は分けて開催したが、その評価に対する町長の考えは。

答 若宮町長

産業まつりは、五戸三大肉フェスタやフォトログといった企画の効果もあり、約4千人が来場し

た。

文化まつりは、昨年度と同内容・同規模で開催し、来場者の状況は例年どおりであった。どちらのまつりも、様々な課題があったため、検証を行い、町の活性化が図られるイベントとなるよう期待している。

質問④

4. 農業のまち... 農業の担い手不足解消の状況は。また、外国人の受け入れは考えているか。

答 若宮町長

県とJAが運用している、求人マッチングサイトの案内を町のホームページに掲載している。農業分野での外国人材の雇用は、様々な制度や届出があり、相談があれば関係機関から情報を収集し対応したい。

質問⑤

5. 圏域市町村のつながり強化... 国は自治体病院の再編成を促しているが、町長の考えは。

答 若宮町長

地域医療構想調整会議の中で、五戸地域における基幹的医療機関である五戸総合病院の意義を丁寧に説明し、存続に向けて努力していく。

◆街路樹の剪定に関する予算計上は

質問①

街路樹を剪定するため予算は計上しているか。

答 若宮町長

例年約120万円計上している。

意見

十分な予算を計上して進めていただきたい。

◆五戸のおんこちゃんを活用して、SNS観光地にしては

質問①

五戸のおんこちゃんを活かした、SNS観光地を目指してはどうか。

答 若宮町長

SNSを利用した情報発信は、当町の観光振興に有効であると考えている。

現在、LINEスタンプの開発など、五戸のおんこちゃんを活用した様々な仕掛けづくりを検討中である。



©東京ハイジ/五戸町

一般質問

◆家庭内での子どもへの虐待に対する対応は万全か

町長 未然に防止する取り組みを含め万全だ



鈴木 隆也 議員



質問①

直近の3年間で、当町における家庭内での子どもへの虐待及び虐待の疑いのある事案はそれぞれ何件か。

答 若宮町長

虐待の事案はなかったが、虐待の疑いのあった事案は、平成28年度0件、平成29年度3件、平成30年度26件となっている。それぞれの事案について、家庭を訪問し聞き取り調査などを行い、必要がある場合、改善の指導をした。

質問②

家庭内での子どもへの虐待を未然に防ぐための取り組みは。

答 若宮町長

児童虐待は妊娠期から始まっているとされており、妊娠届に来庁された妊婦に対して、保健師が聞き取り調査などによるハイリスク妊婦の把握や保健指導を行っている。出産後は、保健師による乳児全戸訪問を行い、子育て能力や負担感、精神面の把握、子育てに必要な情報提供や助言などの支援を行っている。親子の愛着の形成は、児童虐待防止や自殺予防にも大いに関係するものであり、平成30年度から生後2ヶ月から5ヶ月の子と保護者を対象に、『ママの大好き教室』を開催している。関係機関の体制としては、役場窓口・保育園・小・中学校など、福祉や教育分野の関係機関との

質問③

家庭内での子どもへの虐待が疑われる情報を得た場合の対応は。

答 若宮町長

虐待の疑いがある情報を得た場合、役場内の福祉課・教育課・健康増進課の3課の関係者を招集し、速やかに受理会議を開催する。児童相談所の指導を仰ぎながら、48時間以内で2名以上の役場職員が訪問し、子どもの安全確認と事実確認を行う。その後、速やかに判定会議を行い、虐待の区分や緊急性の判断、援助方針を決定する。緊急介入・保護を要する場合は、児童相談所に送致する。それ以外は、関係機関のネットワークによる支援を行い、状況

の改善を図っている。

虐待などの要保護児童の早期発見や保護を図るためには、関係機関がその子ども等に関する情報や考え方を共有し、適切な連携の下で対応していくことが重要である。

◆公共交通機関網の早期整備を

町長 高校への通学などの負担軽減のために急ぎたい

質問①

子どもが高校へ通うためのバス路線の充実が喫緊の課題である。いつまでもどのような対策を講じるのか。

答 若宮町長

五戸高校が令和3年度末に閉校となることから、近隣の高校への通学支援が重要だと考える。八戸圏域地域公共交通活性化協議会では、圏域内のバスの運行について定期的に協議を行い、地域公共交通再編実施計画



を定めている。当町に關係する五戸町・新郷村方面について、令和3年度以降の実施に向けた計画の検討・策定を来年度中に作業する。路線バスの運行が高校就学の壁にならないよう協議していく。



とよ たか お 豊田 孝夫 議員

◆輸出米に対する町の取り組みは

町長 国、県及び生産者の動向を見ながら進めていく

◆歴史みらいパーク全体のリノベーションの考えは

町長 子供たちが安心して遊べる空間づくりを行う

質問③ 作付面積や米の品種に制限はあるか。

質問⑤ JAまたは民間業者の取り扱いはどのようなになっているか。

答 中村農林課長

取扱い業者によって扱

いは異なるが、特に面積や品種についての制限はない。

答 若宮町長

JAについては、全農が取り扱いをしている。輸出を行っている業者は、全農を含めて全国に70事業者あり、計画にもとづき、買い取った米を輸出している。

質問④

輸出米を作付けした場合、補助金制度はあるのか。

答 若宮町長

経営所得安定対策の対象作物であり、国から10アールあたり2万円の交付金が受けられる。

答 中村農林課長

県からも9千円の補助金が受けられる。

質問⑥

国の動向と当町での輸出米に対する取り組みは。

答 若宮町長

国は、輸出拡大につながるため、海外市場開拓を強く推進している。町としても国、県及び生産者の動向を確認しながら進めていきたい。



木村秀政ホール

質問① 木村秀政ホールの現状と改装・修繕計画は。

答 若宮町長

円形のホールとなっており、頭上にはN58シグネット機が展示され、木村秀政氏を紹介するモニターテレビ、フライトシミュレーターがある。また、体験用パソコンもあるが、故障しており使用できない状態となっている。

これまでも更新または撤去した方が良いのでは

質問②

五戸代官所の活用についての考えは。

答 若宮町長

五戸代官所は、外から外観を観覧する展示物であり、人が中で活動できる構造ではない。したがって、耐震基準・消防法等の基準をクリアしておらず、基準を満たすためには大規模な改修と多額の費用が必要となる。

質問④

歴史みらいパークのリノベーションをどのように進めていくのか。

答 若宮町長

公園機能の強化や木村秀政ホールを改修し、子供たちが安心して遊べる空間づくりを行いたい。

質問③

歴史みらいパーク内にまちの駅を建設する構想があったが、その後の経過は。

一般質問



かしわだ ただのり
柏田 匡智 議員

◆産業まつりでの五戸三大肉のPR・販売実績と反省点は

町長 来場者の意見をふまえ、次回は対応できるよう準備をしていきたい

質問②

五戸三大肉の販売実績は。また、昨年度開催された倉石牛肉まつりの前売券の販売実績は。

質問③

開催後の反省点と五戸三大肉の今後のPR方法は。

答 若宮町長

三大肉フェスタでは、7出店者が精肉・串焼き・唐揚げ・鍋・ピザなどを2日間販売し、販売品数としては、約3千200品販売した。

答 中村農林課長

三大肉フェスタでの倉石牛関連の商品は、串焼き・サイコロステーキで、約360品、倉石牛の精肉は約60kg販売した。昨年度の倉石牛肉まつりは、前売券のチケットで1千955枚、精肉に換算すると約390kgの販売実績があった。

質問④

現在、産業まつり実行委員会に生産者が加わっていない。食品の安全・



五戸三大肉フェスタ

◆町民に身近な表彰条例を制定しては

町長 今後の検討課題としたい

質問①

現行の五戸町表彰条例は尊重されてしかるべきものだが、他の市町村では、表彰条件の緩やかな身近な表彰条例も制定し、表彰の模様を地元ケーブルテレビなどで放送している。

自主的な草刈りなどの奉仕活動、伝統芸能などの文化活動やスポーツ活動等、年齢にとらわれず定期的にその功績を表彰することで、子供達が五戸町民としての誇りを持ち、未来の五戸町を担う人材育成の一助になるのではないかと考える。

答 若宮町長

今後、町民に身近な表彰条例の制定を検討しては。

答 服部総務課長

今年11月に開催された表彰審議会の中でも、草刈りや福祉施設でのボランティア活動をj行っている方々を拾い上げて審議会に提案してもらってはどうかという意見があった。来年度は、自治会長や各種団体等からの推薦も検討したい。



かしわだ まさとし
柏田 雅俊 議員

◆倉石温泉の今後の運営は

町長 検討委員会を設置し事業
運営の見直しを図りたい

質問②

利用者数と入浴料の収入はどれくらいか。

答 若宮町長

平成26年度から平成30年度までの5年間の平均は、利用者数については、年間4万1千200人程度、1日あたり136人程度となっている。入浴料については、年間105万4千800円程度、1日あたり3万4千900円程度となっている。

質問③

温泉の指定管理者の管理費は年間どれくらいか。また、利用料金収入と合わせると年間の総収入はいくらになるのか。

答 若宮町長

指定管理は、施設全体の管理・運営を委託して

年 度	入浴料等 利用料	指定管理料	合 計
平成30年度 (実 績)	1,077万円	890万円	1,967万円
令和元年度 (見 込)	1,058万円	981万円	2,039万円

いる。管理費は、利用料金等収入と町からの指定管理料で賄っている。内容は次の表のとおりである。

ただし、1件あたり概ね3万円を超える修繕料及び施設・設備の改修工事費については、別途町予算で対応している。

質問④

指定管理であっても公金を扱っているため、適正に処理するためにカウンター付きの券売機を導入しては。

答 高嶋福祉課長

カウンター付きの券売機を設けることができるか精査し検討していきたい。

質問⑤

倉石温泉運営事業検討委員会の委員に、民間の同業者を加えるべきではないと思うが、どのように考えているのか。また、温泉の継続・廃止についても検討課題とするのか。

答 若宮町長

運用開始から28年が経

過し、これからの事業運営に係る課題について、広く利用者である住民の意見を頂戴し、今後の運営に役立てる目的で設置するものである。よって、利用者である住民の意見を頂く場所であることに重きを置いていることから、委員に同業者を入れることは考えていない。

◆森林環境譲与税の使いみちは

町長 造林事業や林地台帳保守に充てる

質問①

林業振興には、林道の整備が必要不可欠である。森林環境譲与税を財源として充当しては。また、人材不足を補うために個別に助成や支援をしてはどうか。

答 若宮町長

森林環境譲与税の使途は法律で定められており、町では来年度において、造林事業のかさ上げ

なお、温泉の継続・廃止については検討課題としていない。



倉石温泉

助成や森林GIS(地理情報システム)・林地台帳保守業務委託を実施することになっている。林道の整備については、林野庁の林道整備事業で整備促進を図ってきたい。

答 中村農林課長

個別となると個人に対する助成になるので、支援できるか確認し検討したい。

一般質問

◆3つの町内中学校の配置計画は

教育長 最重要課題の1つであり統合も含め考えていく



かわさき しちひろ
川崎 七洋 議員

質問①

五戸町には3つの中学校(五戸・川内・倉石)があるが、生徒数の減少、建物の老朽化で、それぞれが単独で存在するのは難しい状況にきている。3校の統合を望む保護者の声があるが、この先の配置計画をお伺いしたい。

答 柳町教育長

人口の減少が進む中、生徒数の減少はもつと急激に進んでいて、学校運営に深刻な影響を与えている。

建物に関しては、国から長寿命化工事に対して補助する制度があり、それに向けて現在計画を策定しているところである。

統合を望む保護者の声があることは承知しているので、アンケートの実施や学校適正化委員会の設立などで、関係者の皆様の声を吸い上げながら進めたい。

意見

若宮町長も、三浦前町長も、「中学校の友達は一生涯の友達となる」と述べられている。

私の学年は、約200人いて、近い学年を含めると約600人の級友がいる。級友は大人になってからの財産であり、五戸町に帰ってくる動機、原動力になる。

今の学生は何人の同級生がいるのか。今の中学生が大人になったときを考えて中学校の統合についてお考えいただきたい。



築40年が経過した五戸中学校の校舎

◆手話言語条例の検討状況は

質問①

手話言語条例の制定に向けた検討状況はどのようになっているか。

答 若宮町長

手話言語条例の制定のためには、民間の協力機関・団体の存在が不可欠であり、現状そういった団体が無いため、進めるのが困難な状況にある。

町としては、前述の団体の発足を目指し、国の事業を活用して、手話奉仕員養成講座の実施を計画している。

引き続き、条例の制定に向け前向きに進めていきたい。



◆町長が考える五戸町の未来像は

町長 今を大切にし、着実に前に進んでいく

質問①

予算編成の時期となったが、来年度予算を編成するにあたり、この先の未来にどのような出来事があると予想し、どのように対処しようと考えて、どのような施策を展開しようとしているのか。

答 若宮町長

今年度は、三浦前町長が策定した第2次五戸町総合振興計画の後期計画の策定期であり、それに付随する第2期五戸町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定も現在進めている最中である。

この総合振興計画を町民の皆様に分かりやすくしたものが、選挙公約として掲げた『5つの五戸町づくり』であり、熟読していただければイメージを持つてもらえると思う。

質問②

計画を策定するにあたり、人口目標はどのように定めているのか。

答 若宮町長

現在のところそこまで詳しい目標は定めていない。国立社会保障・人口問題研究所による2040年の推計値では、これから何もしなければ、五戸町の高齢化率が約50%になると見込まれている。これに対応した施策を検討したい。

意見

「何もしなければ」とのご答弁だが、とにかく何でもやれば良いという話ではないと考える。予算がかかってもきちんとした調査をし目標を定め、効果的な施策を展開することを希望する。



かわむら ひろあき
川村 浩昭 議員

◆五戸高校の廃校が迫る中、どのように教育のまち「五戸」を維持し進めていくのか

町長 学校教育及び生涯学習を充実させ、未来を創造する人づくりを進めたい

質問①
町長の公約に、教育のまち「五戸」を掲げているが、五戸高校の廃校後の問題も含めてどのようにしていくつもりか。

答若宮町長

次世代を担う人材が様々な分野で個性や能力を発揮することは、町の活力や人との交流など地域の発展につながるから、五戸の未来を創造する人と文化を育む町を基本目標に掲げている。学校・家庭・地域が連携しながら、豊かな人間性と社会性、郷土愛を育む教育や、住民同士の交流につながるよう生涯学習やスポーツ活動の充実に努めていく。五戸高校については、令和3年度をもって閉校の見通しとなっている。この決定を覆すことは困難なため、影響を受ける高校生への通学支援を強く青森県に要望していく。

◆にぎわいのあるまちづくりの具体的な案は

町長 7つの取り組みについて調査・研究をしたい

質問①

町長の公約に、活気があり、にぎわいのあるまちづくりを掲げているが、その具体的な案は。

答若宮町長

主な取り組みとして、次の7項目を掲げている。
①みらいパークのリノベーション：
五戸町の未来を担う子供達が集う交流の場所づくりを検討していきたい。
②商店街の振興：
各団体のイベント等の開催を支援し、地元の良い所を広く紹介して、商店街ににぎわいと活気が持続するような取り組みを検討したい。
③V I S I Tはちのへの連携：
八戸エリア8市町村の広域観光により、交流人口の拡大及び物産振興による販路開拓と消費拡大

質問②

④中央商店街の再開発の調査：
中央商店街の活性化には、どのような施策が効果的なのか、再開発も視野に入れた調査をしたい。
⑤第2期住宅用地造成事業の調査：
上市川団地の宅地分譲は、残り1区画となり、

質問③

ごのへ郷土館に木村秀政ホールを移転させて、空いたスペースにまちの駅などの施設を整備しては。

答若宮町長

木村秀政ホールの全ては難しいが、展示物を移転させることも含めて検討材料とさせていただきます。

意見

現在、青森県では外国人観光客による消費拡大に力を入れている。また、国連サミットで

は持続可能な開発目標(SDGs)が採択されている。このような背景から、五戸町においても目標達成のための計画を立てなければならぬ。その一例として、町内の商店が、消費税免税店の許可を得られるような支援をしてはどうか。是非ご検討いただきたい。

◆町道の破損 個所の対処方法は

質問①

町道の歩道や縁石の破損が目立っているが、その対処方法は。

答若宮町長

町職員の道路パトロールによる確認のほか、自治会や道路利用者からの情報をもとに現地を確認している。緊急性や危険性などを考え、優先度が高いと判断した箇所から順次補修を行っている。

所管事務調査

経済常任委員会

10月11日実施

調査内容

○国道454号線交通安

全対策工事(扇田)

○木材処理加工施設

(三八地方森林組合)

○町有林管理状況

(岡谷地・館向・中崎)

農林課及び建設課から事業の内容や工事状況についての説明を受けながら、現地調査を行った。



三八地方森林組合長の説明

【農林課】県の林業・木材産業等振興施設整備事業を活用しリングバーカー一式を購入した三八地方森林組合を視察。生産性の大幅な向上等の説

明を受けた。

町有林の管理状況においては、担当職員から間伐等の状況の説明を受けた。今後伐採適齢期の立木の活用を要望した。



町有林について担当職員の説明

【建設課】平成29年度工事完了の町道、県事業の国道454扇田地区交通安全対策工事を視察。

●経済常任委員会(6人)

産業経済、土木建設に

関する事務を所管する。

委員長 松山 泰治

副委員長 川崎 七洋

委員 柏田 匡智

委員 豊田 孝夫

委員 高山 浩司

委員 三浦 俊哉

昨年度の調査実績
○粒ヶ谷地地区経営体育成基盤整備事業

○リングゴ樹園地「黒星病」被害発生状況

○町道家ノ向梨木平線道路改良工事

○浅水川広域河川改修工事・町道野沢岩ノ脇線岩ノ脇橋改築工事

12月10日経済常任委員

会で調査・研修の結果を

もとに、町有林の活用につ

いて伐採した立木の利益を

町民に還元するなどの内容を

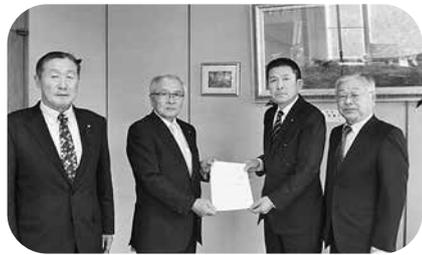
協議し、同月19日松山

経済常任委員長から大沢

議長に報告書を提出、同日

議長から町執行部へ要望書として提出し

た。



町執行部へ要望書を提出

民生常任委員会

10月18日実施

調査内容

○倉石保育園建設状況、

管理・運営方針について

○公共下水道と合併浄化

槽の整備について

○福祉課、建設課及び関

係者から現在の建設進捗

状況などについての説明

を受けながら、現地調査

を行った。

倉石保育園の工事進捗

状況は、約50%で順調の

ようであった。

下水道事業は来年度以降

整備を休止し、浄化槽

による整備を進める。住

民の負担にならない整備

手法、使用料の見直しな

どが検討課題。



倉石保育園建設状況の説明



倉石保育園建設現場

●民生常任委員会(6人)

社会福祉、消防、上下

水道、総合病院、国民健

康保険、老人保健及び介

護保険に関する事務を所

管する。

委員長 川村 浩昭

副委員長 鈴木 隆也

委員 相内 樹里

委員 大久保和夫

委員 大沢 博

委員 古田 陸夫

昨年度の調査実績

○倉石温泉の状況につい

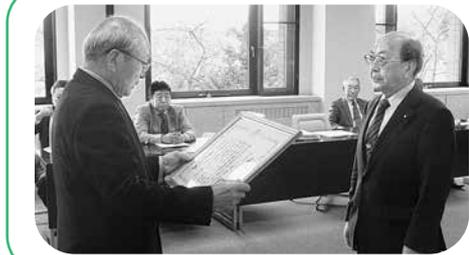
て

○社会福祉協議会の浴場

等状況について

令和元年度市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈

三浦俊哉議員が、町村の議会の議員として通算35年以上(基準日10月1日現在)在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったとして、10月15日総務大臣より感謝状が贈呈された。11月25日議員全員協議会終了後、大沢議長より感謝状の伝達と記念品の贈呈が行われた。



第16期五戸町議会4年間の主な出来事

平成28年2月29日

第16期五戸町議会が始動。



和田 寛司 議員が議長、大久保 均 議員が副議長となる。

平成28年8月

リオデジャネイロ五輪に、当町出身でサッカー日本代表監督を務めた手倉森 誠氏と、レスリング日本代表選手の太田 忍氏が出場。応援ポロシャツを着用して本会議に臨み、応援ムードを盛り上げた。



平成28年11月

五戸町立川内中学校にて出前授業を実施。



平成29年2月

五戸町連合婦人会との懇談会を開催。

平成29年6月

青森県に対し、青森県立五戸高等学校の存続を求める意見書を提出。

平成29年8月

青森県立五戸高等学校存続に対する調査・検討のため、北海道南富良野高等学校を視察。



青森県立五戸高等学校



北海道南富良野高等学校

平成29年9月

副議長を務めた大久保 均 議員が、副町長に選任されたことにより議員を辞職し、議員17名となる。指名推選により古田 陸夫 議員が副議長となる。

平成30年10月

五戸町立五戸中学校にて出前授業を実施。

平成30年12月

五戸町連合婦人会・五戸町商工会女性部との意見交換会を開催。



平成31年3月

議長を務めた和田 寛司 議員が、青森県議会議員選挙立候補のため議員を辞職し、議員16名となる。

令和元年5月

若宮 佳一 議員が、五戸町長選挙立候補により議員を失職し、議員15名となる。

令和元年6月

五戸町議会議員補欠選挙により、相内 樹里 議員と柏田 匡智 議員が当選し、議員17名となる。

第28回定例会で、欠員となっていた議長の選挙が行われ、大沢 博 議員が当選し議長となる。

令和元年9月

令和2年1月1日以後告示される一般選挙から、五戸町議会議員定数を18人から16人とする議会案を可決。

令和2年2月28日

第16期五戸町議会議員任期満了となる。

五戸町議会議員一般選挙投開票日 令和2年2月16日(日)

五戸町議会議員一般選挙結果比較

	前々回	前 回	今 回
議員任期	平成24年2月29日 、 平成28年2月28日	平成28年2月29日 、 令和2年2月28日	令和2年2月29日 、 令和6年2月28日
投開票日	平成24年2月19日	平成28年2月21日	令和2年2月16日
告示日	平成24年2月14日	平成28年2月16日	令和2年2月11日
議員定数	18人	18人	16人
立候補者数	21人	21人	告示日に判明
有権者数	16,358人	15,640人	約15,100人
投票率	69.40%	67.69%	開票後に判明
トップ当選者得票数	929票	829票	開票後に判明

第26回連携中枢都市圏の形成に関する勉強会

令和元年10月15日、新郷村において八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟主催による勉強会が開催され、五戸町議会議員は13人が出席した。

講演講師 「八戸圏域における観光誘客・物産振興事業について」
 一般財団法人VISITはちのへ 理事長 塚原 隆市 氏
 *この勉強会は八戸圏域8市町村の振興・発展に資するため、平成21年度より各市町村持ち回りで開催。



五戸地区議会議員協議会視察研修会

令和元年10月23日、五戸町において五戸町議会議員と新郷村議会議員で構成される五戸地区議会議員の視察研修会が開催され、五戸町議会議員は14人が出席した。

視察研修会 「廃校校舎の利活用について」
 ・旧南小学校 きらきらフーズ株式会社
 ・旧豊間内小学校 ごのへ郷土館



三戸郡町村議会議員研修会

令和元年11月8日、南部町において三戸郡議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は10人が出席した。

講演講師 青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦
 青森県 企画政策部 企画調整課 副参事 奥田 昌範 氏
講演講師 「青森県地域共生社会」の実現に向けて
 青森県 企画政策部 地域活力振興課 課長代理 小野 厚志 氏



編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。令和の時代が始まったのも束の間、早いもので令和2年を迎えました。近年の時の流れは目まがいがいそうなほど早く、気を抜くとすぐに置いて行かれます。我々議員も来月2月末に4年の任期を満了し、選挙を経て新しい顔ぶれに変わります。

変化の激しい今の時代に、きちんと先を見据えた人を選挙で選ぶというのは非常に重要なことであり、選ばれる側の議員もまた、これまでとは違った努力をすることが求められます。選ぶ側も選ばれる側も、双方が努力することで五戸の未来は切り開かれます。若宮新町長の下、オール五戸で邁進しましょう。

現委員での議会だよりは今号が最後となります。これまでのご愛読ありがとうございました。今後ともよろしくお願致します。

副委員長 川崎 七洋

議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月9日開会予定です。
 詳しくは議会事務局まで
TEL 62-2111 (代表)
 日程が決まり次第「五戸ちゃんねる」
 五戸町ホームページでもお知らせします。

次回の議会だよりは、令和2年4月発行予定です。

広報常任委員会

委員長 豊田 孝夫
 副委員長 川崎 七洋
 委員 柏田 匡智
 委員 鈴木 隆也
 委員 大久保 和夫
 委員 高山 浩司
 委員 尾形 裕之
 発行責任者 長沢 博
 令和2年1月24日発行